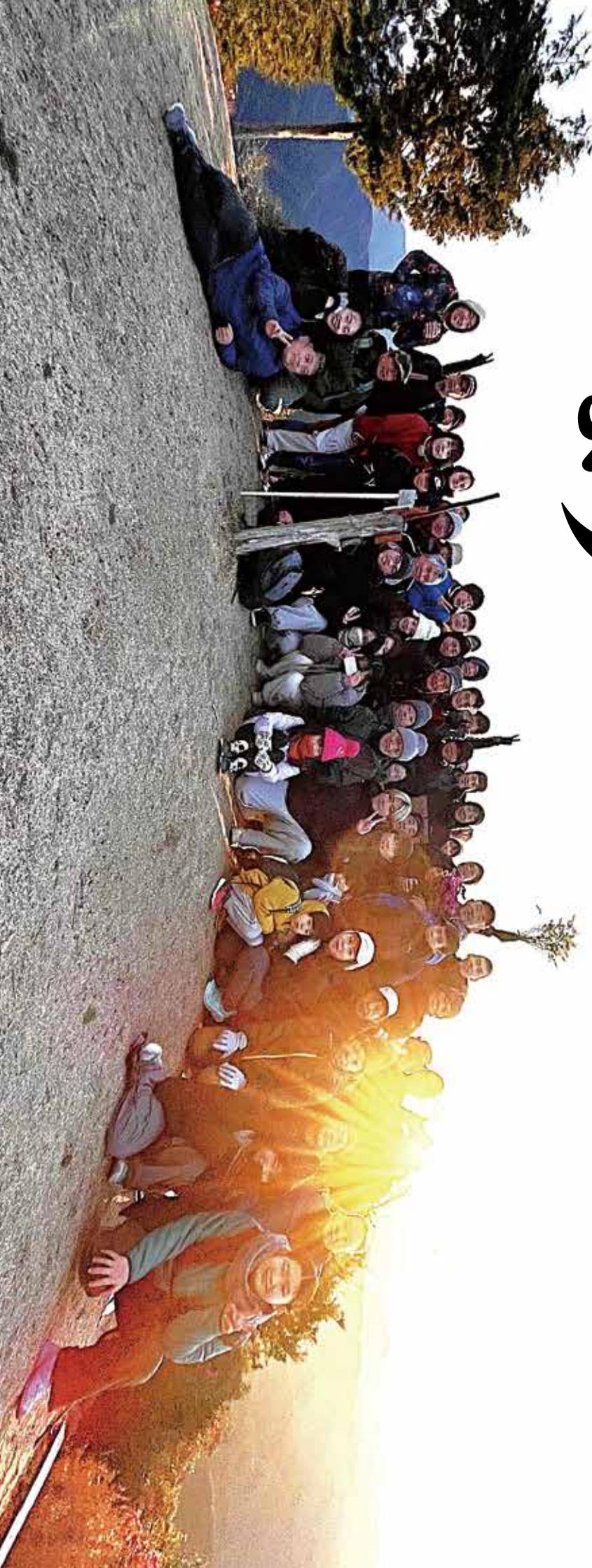


いなみ町

# 議会だより

No.108  
2026.1



## 令和7年 第4回定例会 等

- 議案審議 ..... P2
- 一般質問(3名が登壇)・・・P3～P5
- 団体紹介 ..... P6

真妻山 初日の出

# 議案に対する各議員の賛否

○=賛成 ×=反対

12月議会は11日に開会。議案10件をすべて可決し、17日に閉会しました。  
第3回臨時議会は、25日開会。議案1件を可決して閉会しました。



種類	議案番号	議案内容	榎本	中島	古川	福田	堀口	玉置	前田	谷	木村	片山	黒井
条例	54	印南町公告式条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	55	印南町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	56	職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	59	令和7年度印南町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	60	令和7年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	61	令和7年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	62	令和7年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	63	令和7年度印南町水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	64	令和7年度印南町一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	57	工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
その他	58	印南町過疎地域持続的発展計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

議案64 第3回臨時会 その他 第4回定例会 ※議長は裁決に加わりません

物価高騰対策生活支援事業  
(議案番号64)

**質問**  
事業の詳細説明を求めます。

**答弁**  
1世帯5万円を支給します。

**質問**  
「国からの交付金を活用して」とのことですが、お米券や商品券という自治体もある中で、印南町が現金支給とした理由は何ですか。

**答弁**  
お米券や商品券の場合は必要経費がかさみます。町長の思いとして、いち早く住民に物価高騰の対策ができるかと判断しました。

**質問**  
いつごろ支給されますか。

**答弁**  
2月下旬には支給する計画です。

## 防災避難ルート、通学路に関する ブロック塀等耐震対策事業について



福田 貴啓  
議員

質問

通学路、避難路に面するブロック塀の把握はされていますか。

耐震対策事業の進捗率が20%に満たない現状に、町として対策を協議されていますか。

答弁 総務課長

町独自で国が示した基準に基づき、町内すべての通学路、避難路に面するブロック塀の安全点検を実施しています。

自主防災会の方々の協力も得ながら、台帳の更新、補助金制度の周知など、通学路、避難路の安全対策の推進に努めているところです。

質問

ブロック塀の設置面積が広い方々に対し、強靱で安

全・安心の町をつくるため、

一人でも多くの方にブロック塀等耐震対策補助事業を活用して頂けるよう、補助金活用の間口を広げられませんか。

答弁 総務課長

所有者個人に補強、撤去等の必要性を認識していただく事が重要であると考えています。

そのことを踏まえ、あらゆる機会を捉えて防災意識の普及啓発とともに、町防災対策補助金について周知していきたいと考えています。



## 高齢者の移動 手段について

質問

コミュニティバスだけではなく、乗合タクシーなど利用者のニーズに合わせた施策はできないでしょうか。

乗合タクシーで他市町への乗り入れはできないでしょうか。

答弁 企画産業課長

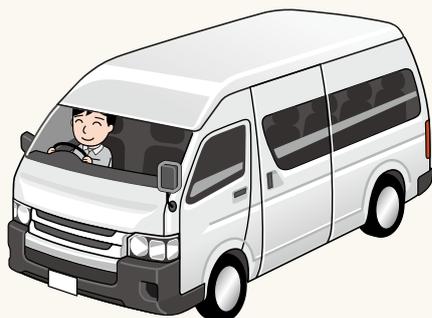
住民の交通手段の確保は重要な行政課題であると認識しています。

さらに良いコミュニティバス運行を実現するための検討を進めているところです。

民間交通事業者への影響を考慮しなければならず、自治体が行う交通対策は、交通空白地を解消する事を主な目的としており、路線

バスが運行しているエリアについてはコミュニティバスが運行できません。

他市町への乗り入れについては、乗り入れ先の自治体の公共交通会議の承認が必要であり、まだ幾つかの課題はありますが、今後も住民の移動手段の確保に向けて、実効性のある対策を進めてまいりたいと考えています。



## クマ問題と 緊急銃猟制度の対応を問う

質問

クマと人間のあつれきが起こり、連日マスコミなどでも報道されています。

当町は面積が広い行政区ですが、クマの足跡や目撃情報などは発生していませんか。

答弁 企画産業課長

県下で目撃情報は多いですが、人的被害は発生していません。

当町では令和元年から6年までの目撃情報は7件で、実際にクマと確認されたのは3件です。

質問

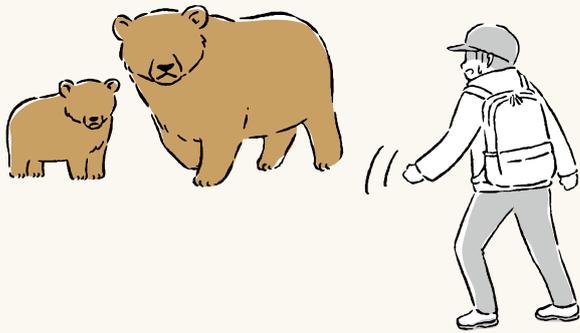
クマが人に危害を加えるケースが多数発生する事から昨年の9月、国会で鳥獣管理法が改正され、4つの条件を満たせば市町村長の判断で猟銃の発砲を可能に

する「緊急銃猟制度」ができました。

町ではどのような位置づけで議論がされていますか。

答弁 企画産業課長

この制度を適切に運用できるように緊急銃猟対応マニュアルを作成中で、猟友会や近隣市町から情報を集め実効性のあるマニュアル作成を進めています。



## ひだか病院との懇談と 消費税問題を問う

質問

11月12日、日本共産党日高地方議員団はひだか病院と懇談を行い意見、要望などを伺いました。

病院側からは「医薬品などを含む支払いに対し全て消費税込みとなっており、この消費税の負担が非常に大きく何とかしてほしい」との意見がありました。国に対し消費税対応を求めていくべきではないですか。

答弁 住民福祉課長

病院経営にとって重荷になっっている事は、病院から説明を受けています。

12月4日、全国177自治体の一つとして、国に対し危機的状況にある自治体病院の存続に向けた緊急要



榎本 一平  
議員

望書を提出しました。



# カーブミラーについて



古川 眞  
議員

**質問**

最近のカーブミラーの支柱には管理用のステッカーが貼付されています。

そのステッカーには通し番号が割り当てられ、不備があるときは役場に連絡するよう記載されています。

各地区（印南、稲原、切目、切目川、真妻）に設置されているカーブミラーは何個ありますか。

**答弁 総務課長**

- 印南地区：146か所
- 稲原地区：239か所
- 切目地区：189か所
- 切目川地区：226か所
- 真妻地区：95か所です。

**質問**

ステッカーを貼付するときに不備が見つかったカーブミラーは何個ありましたか。

不備の内容の説明を求めます。

**答弁 総務課長**

昨年度の一斉点検も含めて99か所の不備が報告されていますが、早急な修繕が必要なものはありませんでした。詳細は次のとおりです。

- ・経年劣化による支柱、取付け金具の腐食
- ・ミラー面の剥げ

**質問**

見つかった不備で、どれくらいの修繕がされましたか。

**答弁 総務課長**

- ・基礎修繕：2か所
- ・再設置支柱：23本
- ・ミラー：9枚
- ・取付アーム：6個
- ・撤去：1か所

・不要支柱撤去：5か所

**質問**

管理用ステッカーに記載されている通し番号が読みづらい、読めないものがあります。

管理番号がわかる資料を交通指導員に頂ければ、修正できると思いますすがいかがですか。

**答弁 総務課長**

そのようなところは、役場に連絡頂ければ、職員が対応します。基本的に、通し番号は、

役場で一元化して管理します。



# 印南町文化協会の紹介

昭和四十八年七月、印南町文化協会設立、初代会長は要海正夫氏。

以来、五十余年間、先人たちによる途絶えることのない歩みが歴史を刻み続けてきました。

平成二十九年には、高齢化が進むなか組織の在り方を変え、「歴史文化」と「サークルの会」の二部門で進む方針を決定し、この二本柱体制で活動を続けてまいりました。

そして昨年、「歴史文化」が、記念誌「印南町文化活動の歩み」の発行を先人への感謝の報告として、「印南町文化協会・歴史文化」体制での活動を卒業することを表明されたのです。

一方、「サークルの会」は、熱心に取り組んできた会員にとっては単なる趣味の域を超えて生きがいの一つとなり、日々の生活に潤いをもたらす、元気に暮らすための大きなエネルギー源となっている

といっても過言ではなく、ほとんどの会員は「印南町文化協会」の中での活動を強く望みました。

こういう経過をふまえて、各クラブ・サークルの活動はそれまで通りの形で続けていくこととなった次第です。

そして、会長を不肖、私が務めさせていただくこととなりました。

前会長坂下緋美様は、二十年以上もの長い間旺盛に活動を続けられました。

この間に積み上げられた功績は印南町の大きな宝物となりました。ふるさと愛に満ち満ちた生きざまには、頭が下がる思いです。心からの敬意と謝意を表したいと思えます。

さて、我々の最大の行事、「いなみ秋の文化展」は、先日（11月22日～24日）、無事に終わりました。

今年は実行委員会を結成し

て取り組みました。

五百名近くのご来場をいただき、盛大に開催することができ、喜んでおります。

今後、秋の一大イベントとして益々発展していきますよう、皆様方のお力添えを切にお願いする次第です。

印南町文化協会会長

宮本 浩子 記



前列左から 平野 真弓（役員事務局 アートフラワー担当）  
宮本 浩子（会長 水墨画担当）・青岸 恵子（会計 書道担当）

後列左から 山西 啓子（短歌担当）・熊代 恭久（陶芸担当）  
堀 幸雄（川柳担当）・山本 吉彦（俳句担当）  
細川 信太郎（カメラ担当）



議会広報特別委員会

■ 委員長 古川 眞 ■ 副委員長 榎本 一平  
■ 委員 玉置 克彦 / 前田 憲男 / 福田 貴啓 / 片山 智文